

浦和東部第一 まちづくりだより

第23号
2009. 1



● あけましておめでとうございます

平成21年を迎えるにあたりまして、新春のご挨拶申し上げます。地権者の皆様には、気持ちも新たに、素晴らしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。早いもので浦和東部地区の事業が始まって8度目のお正月を迎えました。昨年も事業推進に多大なるご協力、ご支援をいただきありがとうございました。2008年を振り返りますと、景気の悪化など暗い出来事も印象に残りますが、北京オリンピックでのソフトボールの上野選手や水泳の北島選手をはじめ、多くのアスリートの活躍があったほか、日本人のノーベル賞受賞者が4名も選出されるなど、日本人であることを誇りに思うと同時に感動と勇気を与えてくれる出来事も多くあったのではないのでしょうか。今年も彼らの活躍に負けないよう、私達も気持ち新たに、より一層事業推進に努めてまいりますので、なお一層のご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、新しい年が皆様にとりまして幸多き年となりますことをご祈念しまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

浦和東部まちづくり事務所
所長 工藤 俊彦

● 事業進捗状況

今年も昨年に引き続き、整地、地盤改良、下水道、道路築造、擁壁の各工事や埋蔵文化財発掘調査の実施、さらには建物・立竹木等の移転にご協力をいただきながら事業を進めていく予定でございます。地区内の多くの箇所で行われ、日に日に風景が変わっていきませんが、数年後には見違えるほど変化することと思われます。そこで、現在の様子をレポートしたいと思います。



この道は都市計画道路の一部になる予定の仮設道路です。地区内のおちらこちらで途切れ途切れに建設されている仮設道路ですが、パズルのように徐々にそれらが繋がって完成に向かっていくんですね。形だけでなく高さも調節しながら道を組み立てていく様子はすごいなと思いました。



浦和美園駅

これは遺跡調査の様子です。これまでの調査結果によりまして、この付近からは縄文時代中期・弥生時代中期・平安時代の居住跡などが検出されています。今回の調査では縄文時代の土坑や弥生時代後期から古墳時代前期の居住跡、土器などが出土されました。昔から人々はこの周辺を居住地として選んでいたのです。

これは東北道インター付近の地盤改良工事の様子です。この現場ではパワーブレンダーという工法を採用しています。この工法は既存工法にくらべ、施工能率が高いため、工期の短縮が図れ、低コストで工事が行えます。また施工管理装置を用いてリアルタイムで稼働状況をモニタリングして効率的に施工を行うことにより、品質の優れた改良土の造成が可能になります。地味な動きをしていますが、実は地下5～9mの深度で地盤改良をしています。

これは463バイパス沿いの仮設道路です。ここは将来、片側2車線の都市計画道路が建設されます。その建設にあたって、歩道橋が計画道路の支障となったため、歩道橋の足の向きを変えました。まだ立ち入り禁止になっていますが、このように大きな道路の形が見えてくると新しい街が出来上がっていているのだと感じます。

埼玉スタジアム
2002



事業に対するお問い合わせ、誌面に対するご意見、ご感想をお待ちしております！
ホームページURL <http://www.city.saitama.jp/index.html>
Eメールアドレス urawa-tobu-machidukuri@city.saitama.lg.jp
さいたま市 都市局 まちづくり推進部 浦和東部まちづくり事務所
〒336-0963 さいたま市緑区大字1678番地1

